

平成30年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,607	4,748	141	(注1)
うち補正予算による追加	-	1	1	
施設整備費補助金	74	93	19	(注2)
うち補正予算による追加	-	19	19	
補助金等収入	64	89	25	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	3,562	3,689	127	
授業料、入学料及び検定料収入	3,295	3,356	62	(注4)
雑収入	267	332	65	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,815	2,482	667	(注6)
目的積立金取崩	46	46	-	
計	10,188	11,167	979	
支出				
業務費	8,215	8,258	43	
教育研究経費	8,215	8,258	43	(注7)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	94	113	19	(注8)
補助金等	64	89	25	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,815	2,210	395	(注10)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	10,188	10,669	481	
収入－支出	-	498	498	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、決算額に前年度からの繰越金を含めて計上していることや、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が141百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった補正予算による追加交付により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数が見込数を上回ったことや、前受授業料が見込額を上回ったことにより、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として特許権収入の増収等により、予算額に比して決算額が65百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究、共同研究及び寄附金の受入れ増により、予算額に比して決算額が667百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は180百万円となっています。

(注7) (注1) に示した理由等により、予算額に比して決算額が43百万円多額となっています。

(注8) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。

(注9) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。

(注10) (注6) に示した理由等により、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。